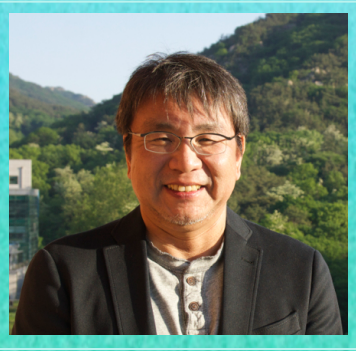
IGM Seminar

日時：平成26年6月4日（水）16：00～17：00
場所：IGM5階セミナー室

東京大学　大学院薬学系研究科
細胞情報学教室
教授　一條 秀憲 先生



「細胞がストレスを感じる仕組みと疾患
～酸化ストレス、小胞体ストレス等を中心に～」

ストレス応答は細胞が持つ最も基本的な生命現象のひとつであり、その破綻は、がん、神経変性、糖尿病などをはじめとする多様な疾患の発症要因となります。私たちの研究グループは、細胞の機能維持に深く関わる4つの根源的なストレス（酸化ストレス、浸透圧ストレス、小胞体ストレス、ミトコンドリアストレス）と、それらストレスの受容・認識の「鍵となるオリジナルな分子群」に焦点を当てながら、過去約20年間に亘り、一貫してストレスシグナルの分子機構の解明とそれに基づいた新たな創薬基盤の創成を目指してきました。 本セミナーでは、最新の研究成果を通じて私たちの目指す生命科学研究の一端をご紹介させて頂きます。

連絡先：藤田恭之（分子腫瘍分野）　内線5530